

# FortiGate

AV・IPS・WebFilter・AntiSpam  
トラブルシューティングガイド  
ver1.2

# 改定

---

日付	バージョン	備考
2009/4/9	1.0	初版
2009/4/21	1.1	プロキシ項目追加
2013/6/6	1.2	Version4.0手順に変更

FortiGateのシグネチャアップデート、及びWebFilter等のリクエストでは以下の仕組みで動作しています。

そのため、それぞれ使用する機能に応じてPort番号の許可をお願いします。

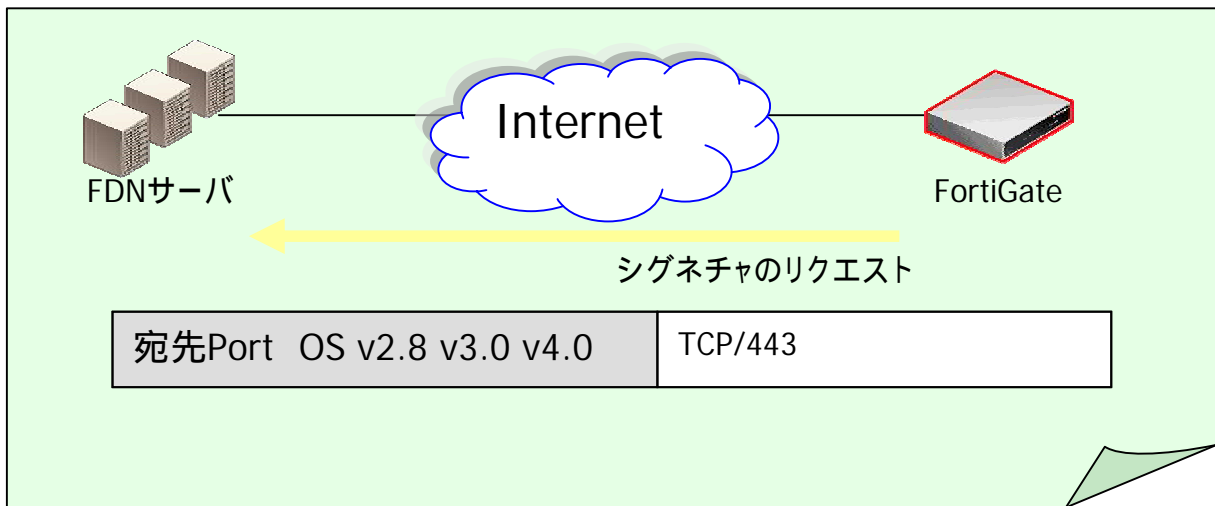
\*宛先IPは非公開となっているためANYでの許可をお願い申します。

\*以下動作には名前解決を必要としますので、FortiGateに対して利用可能なDNSの設定をお願いします。

## Antivirus・IPSでは・・・

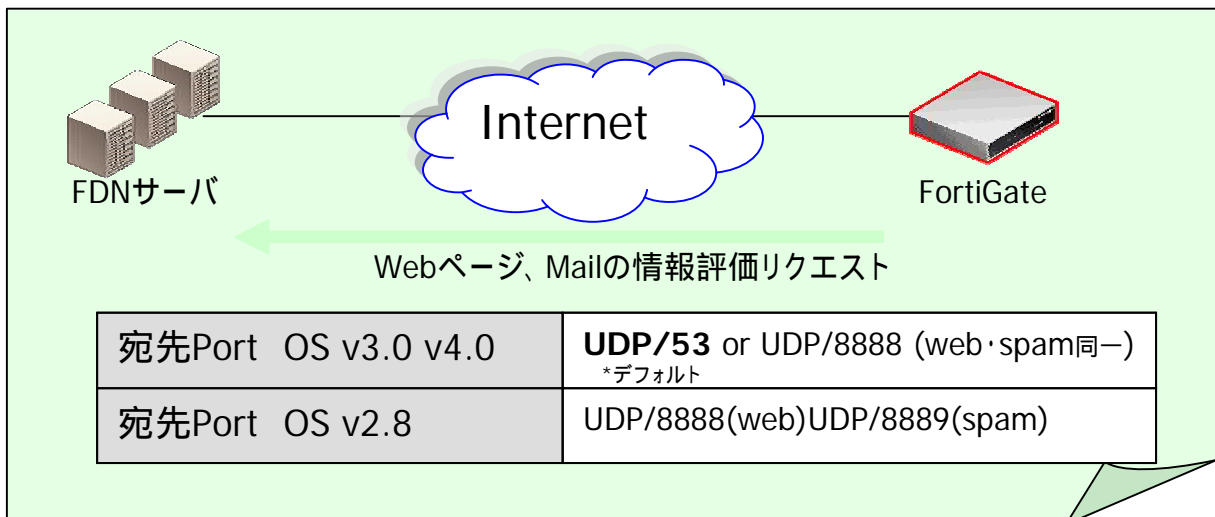
FortiGateのユニット内にパッケージ(シグネチャ・エンジン)をFDNサーバからダウンロードを行います。

\*FDNサーバとはインターネット上に設置してあるFortinet社のサービス用サーバ群になります。



## WebFilter・AntiSpamでは・・・



FortiGateのユニットがFDNサーバにWeb・Mailの評価を問い合わせします。



## 正常な状態では

適切なPort番号FortiGateとFDNサーバとの接続が正常に接続できた場合以下の画像になります。

\*OS・機器によって画面が異なる可能性があります。

▼ ライセンス情報		
<b>サポート契約</b>		
Registration	Registered (Login ID: ope-support-fortinet2@nvc.co.jp) [Login Now]	
Hardware Support	8 x 5 support (期限: 2013-05-24)	
Firmware Support	8 x 5 support (期限: 2015-05-24)	
Enhanced Support	8 x 5 support (期限: 2015-05-24)	
<b>FortiGuardサブスクリプション</b>		
アンチウイルス	ライセンスあり (期限 2013-05-24)	
IPS	ライセンスあり (期限 2013-05-24)	
脆弱性スキャン	ライセンスあり (期限 2015-05-24)	
ウェブフィルタ	ライセンスあり (期限 2013-05-24)	
Emailフィルタ	ライセンスあり (期限 2013-05-24)	

・ライセンスあり  
 ・緑のチェック

…になります

## 症状

ライセンス確認画面で、アイコンが灰色になってしまう。

▼ ライセンス情報	
<b>サポート契約</b>	
Registration	接続不可
<b>FortiGuardサブスクリプション</b>	
アンチウイルス	接続不可 [設定]
IPS	接続不可 [設定]
脆弱性スキャン	接続不可 [設定]
ウェブフィルタ	ライセンスなし [設定]
Emailフィルタ	ライセンスなし [設定]

## 原因

FortiGateがFDNサーバにアクセスができていません。

## 確認点

- 機器のFortiGuard設定が有効になっていない可能性があります。  
 >> [WebUI > システム > 設定\(v2.8 v3.0ではメンテナンス\) >](#)  
     > [FortiGuardの設定を確認してください。](#)  
 (次ページに詳細)
- FortiGateに有効なDNSが登録できておらず、FDNサーバの名前解決ができていない可能性があります。  
 >>[DNSサーバのIPを見直してください。](#)
- 必要な通信が遮断されている可能性があります。  
 >>[スライド3の通信の許可をお願いします。](#)  
 >>[プロキシが存在する環境の場合は次々ページを参照](#)

## アップデート設定

各機能の利用には以下赤枠内を有効(チェック)し、適用をする必要があります。

### ▼ アンチウイルスとIPSオプション

- サーバを手動で指定する
- プッシュ型アップデートを有効にします
- PUSHサーバを手動で設定する  ポート
- 定期更新
- ごと  (時/時間)
- 毎日:  (時/時間)
- 毎週:  (曜日)  (時/時間)
- FortiGuardサービスネットワークの攻撃ログを実行しIPSシグニチャの質を向上する(推奨)

### ▼ ウェブフィルタリングとEメールフィルタリングオプション

- Enable webfilter cache TTL:
- Enable antispam cache TTL:
- Port Selection
  - Use Default Port (53)
  - Use Alternate Port (8888) (FortiGuard サービスは使用できません)

URLのカテゴリレーティングを再評価するには [ここをクリックしてください](#)

## Proxyの設定

CLI専用の設定になるため以下の入力が必要になります。

```
config system autoupdate tunneling
  set address x.x.x.x
  set port yyyy
  set status enable
  set password (任意)
  set username (任意)
end
```

x.x.x.xにIPアドレスを入力し、yyyyにPort番号を入力します。  
proxyサーバへのアクセスにユーザ名・パスワードが必要な場合、  
指定された値を入力してください。

設定により、proxyサーバの利用が可能になりますと、FortiGateの  
ライセンスステータスが更新され、アップデートが利用できます。

## 症状

ライセンス確認画面で、アイコンがオレンジになってしまう。

▼ ライセンス情報		
<b>サポート契約</b>		
Registration	ライセンスなし [登録]	
<b>FortiGuardサブスクリプション</b>		
アンチウィルス	有効期限切れ [ライセンス更新]	
IPS	有効期限切れ [ライセンス更新]	
脆弱性スキャン	ライセンスなし [ライセンス購入]	
ウェブフィルタ	ライセンスなし [設定]	
Emailフィルタ	ライセンスなし [設定]	
<b>FortiCloud</b>		
ステータス		

## 原因

FortiGateがFDNサーバにアクセスはできていますが、ライセンスの有効期限が切れています。

## 確認点

ライセンスが適用されるまで数分～1日程度かかる場合があります。  
ライセンス開始日から1日以上経過後、ライセンスが適用されない場合はライセンス状況を確認する必要があるため、機器購入元に問い合わせください。